

## MI\_2433：修正されたアウターベアリング蓋 – 取り外しと取り付け



iVario 2-XS / Pro 2-S



60分



標準、トルクスパナ（15～20 Nm）



2024年11月25日

## テーマ

古いアウターベアリング蓋の取り外しについてご説明します。

この情報は、**修正されたアウターベアリング蓋**の取り付けについて説明しています。

アウターベアリングの修正版では、パンに対して蓋をより適切に位置合わせできます。

## 対象となる製品/アクセサリ

iVario

- 2-XS

iVario Pro

- 2-S

## 必要な工具

- 標準
- トルクスパナ（15～20 Nm）

## 必要となるコンポーネント

修正されたアウターベアリング蓋

- 87.02.055S：アウターベアリング蓋右側の交換キット
- 87.02.056S：アウターベアリング蓋左側の交換キット

## 一般情報

### 注記

コンポーネントの取り付けをサービスレベルに記入します（タブ「コンポーネントの交換」）。これはメンテナンス履歴の一部です。

#### ターゲットグループ

- 本書は、トレーニングコースおよび安全に関する指導を受け、メーカーから認定と研修を受けた技術者を対象としています。
- 設置、検査、メンテナンスおよび修理作業は、規定のトレーニングを受けた技術者のみが実施できます。
- 点検、メンテナンス、修理は、メーカーから認定された技術者だけが行うことをお勧めします。
- お子様はユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ユニットは、遊ぶために使用しないでください。これは、監視のもとであっても許可されません。
- 身体的、視聴覚的、あるいは精神的な障害のある人、または経験あるいは知識が不十分な人は、ユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ただし、このグループの人々が、安全に関する責任者によって監督され、この装置の危険性を認識させられている場合は、この限りではありません。
- 事故の危険や物的損害を防止するため、メーカーは技術者が定期的にトレーニングや安全説明会に参加することを推奨しています。

## 安全上の指示

### 危険

#### 電源に接続する際の高圧

高電圧を扱う際には人命の危険が生じるおそれがあります。

- 電源との接続を切ってください。
- ユニットに通電されていないことを確認してください。

### ご注意

#### 筐体の鋭利な端部

電装部で作業する際、筐体の鋭利な端部で切り傷を負うおそれがあります。

保護用手袋を用いてください。

### 注記

#### 操作パネルを取り外す際の、ケーブルの根元部分と操作パネルの破損

操作パネルがケーブルの根元部分で設置スペースに繋がれています。

ケーブルの根元部分が破損しないよう、注意して操作パネルを取り外してください。

傷がつかないように、注意して操作パネルを置いてください。

### 注記

#### 操作パネルを開く際に不適切な物を用いる

操作パネルを上を押す際に、鋭いまたは尖った物を用いないでください。ボディーとバックインが破損するおそれがあります。

### 注記

#### 地域および国ごとの安全・試験規定を遵守してください

RATIONALのユニットに関する全ての作業には、それぞれの地域、国別の安全および試験規定が適用されます。これらの規制は地域によって異なる場合があります、国ごとに異なるため、本書では個別に記載していません。

技術者は、これらの規則を遵守する責任があります。

## 修正ログ

この説明書の前バージョンの変更事項：

- サービス部品の品番と交換キット名を追加しました。
- 左側用交換キットも利用できるようになりました。

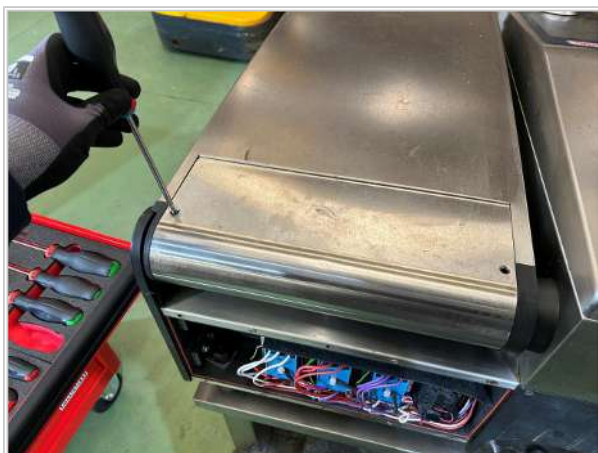
### 作業手順 - 「古い」アウターベアリングの取り外し

以下の説明では右側のみを示します。左側も手順は同じです。

- ✓ ユニットのスイッチが切られて、電源から外されています。
  - ✓ 給水口が停止しています。
  - ✓ ユニットのあらゆる面に手が届くこと。
  - ✓ もう一人が押さえるためにスタンバイしています。
1. リアパネルにある電装部カバーを取り外します。



2. サービスフラップを取り外します。



3. コントロールパネルを取り外し、安全に片側に置きます。プラグ接続は差し込んだままで構いません。



4. 給水パイプの安全クリップを外し、パイプを外します。



5. もう一人に蓋を持ってもらい、軸 (1) を慎重に取り外します。リフトシリンダーロッドを脇に置きます。



6. ねじ (2) に達するまで蓋をゆっくり動かします。  
7. ねじ (2) を緩めますが、取り外す必要はありません。



8. 圧力モジュール (3) を慎重に少し上に引き上げます。何も挿入する必要はありません。



9. アウターベアリングの上部ねじを緩めて取り外します。





10. 電装部のアウターベアリングの下側の4本のねじを緩めて取り外します。



11. ユニットから外側のベアリングと内部のスペーサーを取り外します。

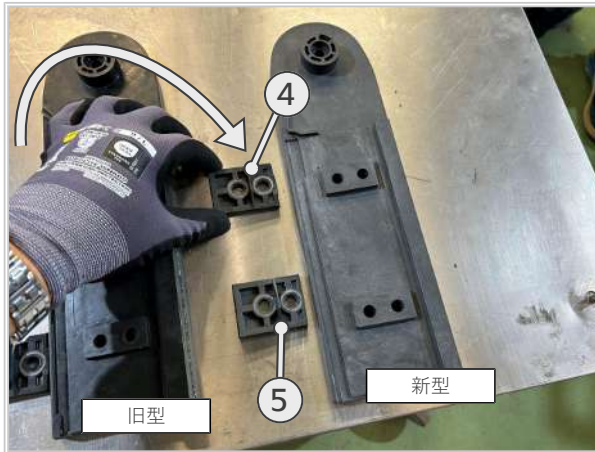


> アウターベアリングの取り外しが完了しました。

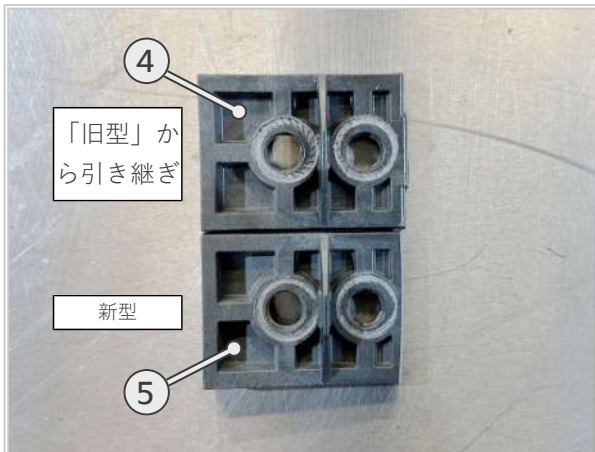


## 作業手順 - 準備

- ✓ 「修正されたアウターベアリング」のキットが用意されています。
- 1. 「古い」アウターベアリングから上側のスペーサー (4) を取り、「新しい」アウターベアリングの上側の位置に追加します。



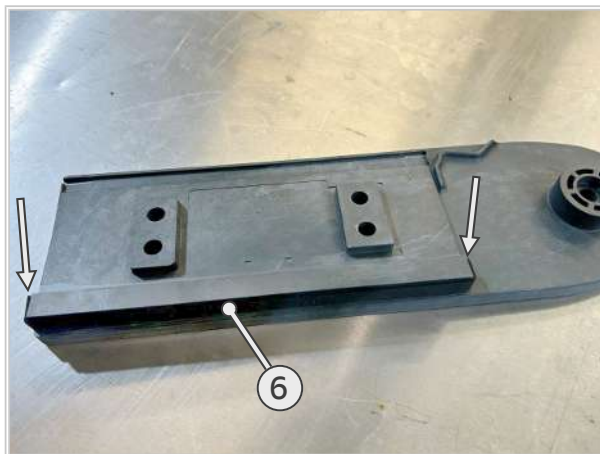
注！ 下側のスペーサー (5) は新しく取り付けられ、新しいバージョンは元のスペーサーより若干短くなっています。



1 | MI\_2433 : 修正されたアウターベアリング蓋 - 取り外しと取り付け

2. 厚さ2 mmのEPDMテープ (6) をアウターベアリングに接着します。
3. それを端に置き、図の位置で切り落とします。





4. カバー (7) を「新しい」アウターベアリングに挿入します。

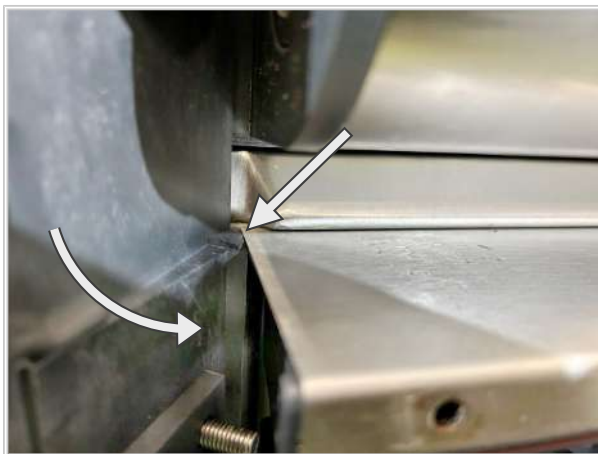


>> 準備が完了しました。

**作業手順 – 修正されたアウターベアリングの取り付け**

1. アウターベアリングを慎重にユニットに挿入します。

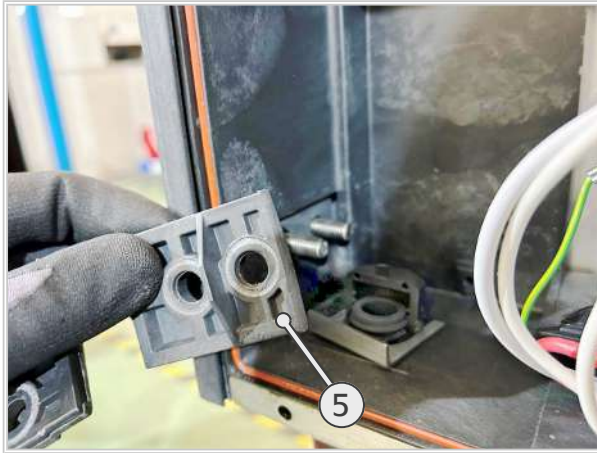
注！ 上下のEPDMテープに注意してください。テープはシートの下に挿入する必要があります。



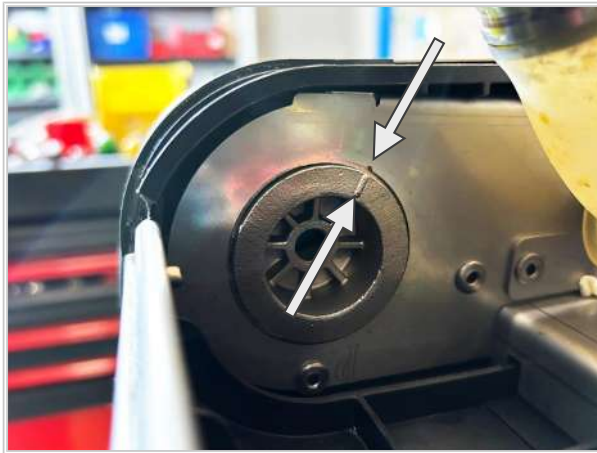
2. 位置合わせに注意しながら、「古い」スペーサー (4) を上に挿入します。



3. 位置合わせに注意しながら、「新しい」スペーサー (5) を下に挿入します。



4. 4つのM8ナットをはめ込むだけで、締め付けしないでください。
5. ディスクと蓋の印の位置合わせを確認します。ディスクは互いに揃っている必要があります。



6. 上部の蓋からねじを差し込みますが、締め付けしないでください。



➢ アウターベアリングの取り付けが完了し、続いて蓋の位置合わせが行われます。

#### 作業手順 - 蓋の位置合わせ

注！ ねじとナットを締め付ける際は、以下の順序と指定された締め付けトルクを守ります。

- ✓ 蓋の蓋が閉められています。
- ✓ 以前に緩めたねじ接続は、全て取り付けるだけで、締め付けません。

1. 閉じられた蓋を矢印の方向に少し外側に引きます。





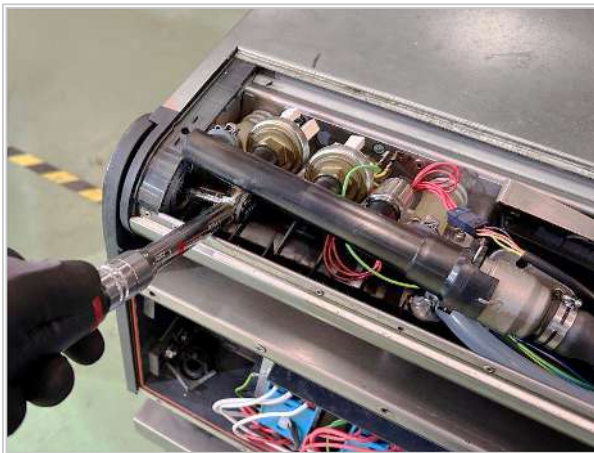
2. ピボットレバーのねじを20 Nmで締めます。



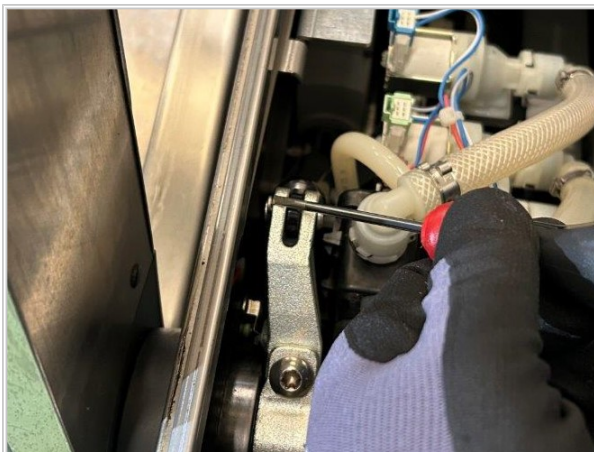
3. 電装部のアウターベアリングにある4つのナットを15 Nmで締め付けます。



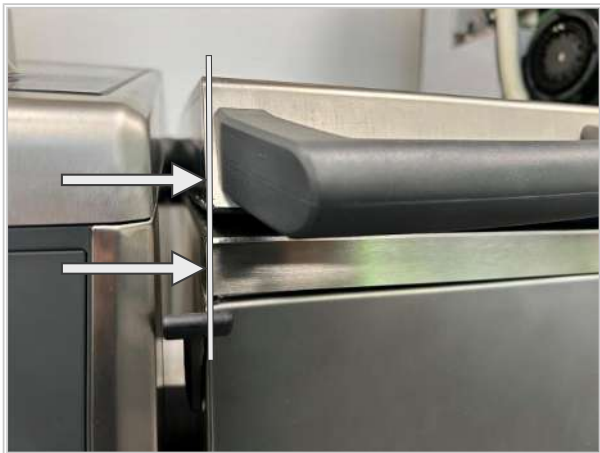
4. アウターベアリングの上部ねじを**20 Nm**で締め付けます。



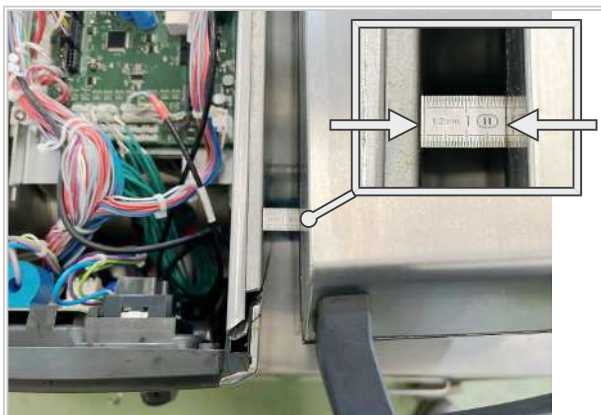
5. リフトシリンダーロッドをピボットレバーに再び挿入します。



6. パンに対する蓋に位置合わせを確認します。両方のコンポーネントが面に重なっている必要があります。



7. 蓋・パンとフレームの間の距離を測ります。目標距離は19~21mmです。



8. 蓋を上下に3回連続で動かします。  
9. 蓋とパンの位置合わせをもう一度確認します。  
10. ズレに気づいたら、ねじを緩め直し、蓋の位置を合わせます。  
>> 蓋の位置合わせが完了しました。

### 作業手順 - ユニットの完成

1. 逆の順序でユニットを組み立て直します。  
>> アウターベアリングの交換が完了しました。



